

第35回全国高等学校漫画選手権大会（まんが甲子園）開催事業委託業務  
プロポーザルに係る審査結果について

1. 審査

参加申込・企画提案書の提出があった2者について、資格要件を満たしており、審査会によるプレゼンテーション及び質疑応答を実施した。

2. 審査項目及び配点

(1) 実施体制	150点
(2) 独自提案	300点
(3) 経費見積	50点
<hr/>	
100点（審査員1名当たり）×5名	合計 500点

※審査方法は、プレゼンテーション及び質疑応答に基づいて各審査員が審査（採点）を行った後、審査員全員の採点を合計するとともに、提案内容について協議を行った。

3. 審査結果

候補者	株式会社 OUTER	378点
次点者	A 社	366点

4. 候補者に関する意見

<優れている点>

- ・AI やデジタルを扱い慣れていて、現代の高校生と近いデジタルリテラシーがある。
- ・今までのまんが甲子園の弱点であった情報発信、大会演出方法に具体的なアイデアがある。
- ・これまでの受託者との協力関係構築に努める姿勢が評価できる。
- ・参加者へのアンケート実施により、事業改善につながる報告書作成が期待できる。
- ・大会後のフォローアップ提案も好印象。
- ・これまでの大会の様子を踏まえた上で新しい提案がされている。
- ・他事業とのエコシステムを構築するような前提でリソース活用を構築している。
- ・真新しさや今までを変えたい、新しいまんが甲子園を作り出したいという気持ちや情熱があり、時代にあわせてアップデートできる可能性がある。
- ・デジタルやAI を駆使して、独自の得意分野に強い自信がある。

<劣っている点>

- ・大きな大会の運営経験が足りない。
- ・「円滑かつ安全な運営」という面で具体性に欠ける部分がある。
- ・提案が多岐にわたる反面、目的達成のために精選しても良いと思われる内容がある。
- ・提案内容通りできるかの不安はある。